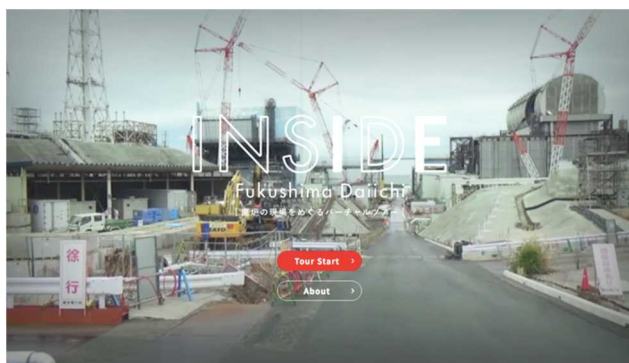


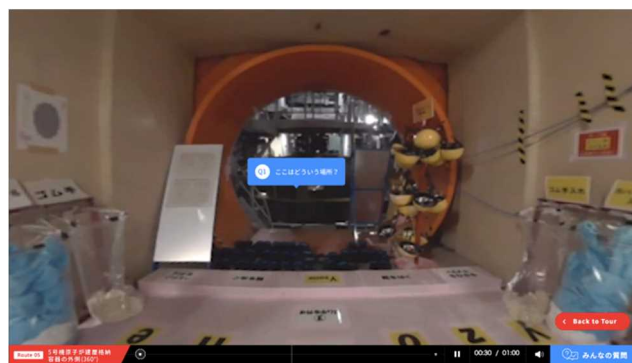
7年が経過した廃炉の今をいつでも・どこからでも見学可能に「INSIDE FUKUSHIMA DAIICHI」公開

- ☑ 1～4号機の今をいつでも・どこからでもバーチャルで間近に見学可能
- ☑ 施設の一部を初めて 360 度動画で公開
- ☑ 現場や設備に対するご質問に FAQ 形式でお答え

東京電力ホールディングス株式会社は、廃炉に向かう福島第一原子力発電所（以下 1F）のバーチャルツアー「INSIDE FUKUSHIMA DAIICHI～廃炉の現場をめぐるバーチャルツアー～」を3月29日（木）より公開します。事故から7年が経過し、原子炉・使用済燃料プールの安定冷却や汚染水対策、作業・労働環境の改善が進んでおります。今後、燃料取り出しなど本格的な廃炉作業が進んでいくことをきっかけに、より多くの方に廃炉作業や廃炉の現場を知っていただくために、廃炉の現場の空気とともに1Fをいつでも・どこからでも見ていただけるバーチャルツアーコンテンツを公開することといたしました。



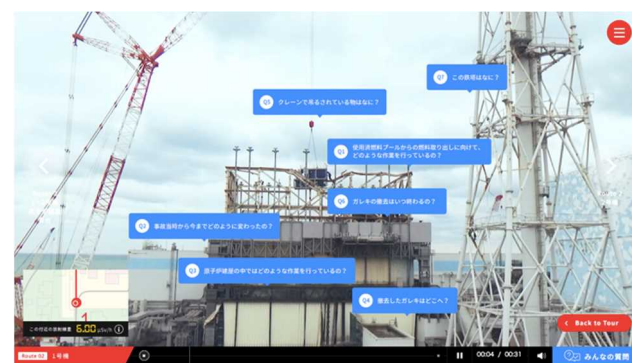
TEPCO
TOP 画面



TEPCO
5号機原子炉建屋内の360度映像



TEPCO
水素爆発した3号機原子炉建屋



TEPCO
1号機正面 視察で出た質問を元に構成されたQ&A

■ **INSIDE FUKUSHIMA DAIICHI** : www.tepco.co.jp/insidefukushimadaichi/index-j.html

※PC版のみ。

※今後、英語版の公開を予定。

「INSIDE FUKUSHIMA DAIICHI～廃炉の現場をめぐるバーチャルツアー～」概要

バーチャルツアー「INSIDE FUKUSHIMA DAIICHI～廃炉の現場をめぐるバーチャルツアー～」では事故から7年が経過した福島第一原子力発電所の今を、PC上でいつでも・どこからでも間近に見学することができます。1～4号機原子炉建屋を間近でご覧いただいたり、施設の一部を360度映像により臨場感のある形で体感いただけます。また、現場や設備に対するご質問に各見学ルート動画の最後にFAQ形式でお答えします。更に、「エリアによって変わる放射線量」の数値も公開することで、より多くの方に廃炉作業や廃炉の現場をリアルに知っていただければと思います。

※INSIDE FUKUSHIMA DAIICHI : www.tepco.co.jp/insidefukushimadaiichi/index-j.html

(PC版のみ)



■ 公開する設備詳細

① 1号機

事故当時、水素爆発により、原子炉建屋の上部が大きく壊れました。そのガレキが原子炉建屋の上部に未だに残っています。使用済燃料プールから燃料を取り出すためには、ガレキの撤去が必要であり、2018年1月からその撤去作業を行っています。



② 2号機

事故当時、水素爆発を免れました。現在は、使用済燃料プールから燃料取り出しを行うために、原子炉建屋上部の調査に向けて準備を行っています。



③ 3号機

事故当時、水素爆発を起こしましたが、今では、屋上のガレキ撤去が終わり、使用済燃料プールからの燃料取り出しの準備が進んでいます。2018年度中頃、燃料取り出しを開始する予定です。



④ 4号機

事故当時、3号機で発生した水素の影響により爆発しました。定期点検中であったため、原子炉内の燃料はすべて使用済燃料プールに移されていました。2014年には燃料の取り出しが完了し、核燃料によるリスクがなくなりました。



⑤ 5号機 格納容器外側 (360度映像・主観映像)

1～4号機と比べ、敷地の標高が高いため津波による大きな被害を受けずに済みました。現在は、運転を停止しており、使用済燃料プールでは燃料を冷却しながら、安定的に保管しています。なお、6号機とともに廃炉が決定しています。



⑥高性能多核種除去設備（ALPS）（360度映像・主観映像）
 汚染水を浄化する設備のひとつです。
 汚染水からトリチウム以外のほとんどの放射性物質を取り除くことができます。



⑦タンクエリア
 汚染水からトリチウム以外のほとんどの放射性物質を取り除かれた処理済みの水などを保管するエリアです。



⑧冷凍機プラント（主観映像）
 氷の壁（陸側遮水壁）の温度管理を24時間体制で行っています。
 1～4号機に地下水が入り込むと、大量の汚染水が発生してしまいますが、氷の壁によって、地下水が1～4号機のそばに近づけないようにすることで、入り込む量を抑えることができます



⑨冷凍機室（360度映像）
 1～4号機の周囲の地面を凍らせる、氷の壁を作るための設備です。



⑩免震重要棟 緊急対策室（主観映像）
 震災などの災害が発生した際に対策本部を設置する建物です。
 震度7の地震が来ても、緊急時の対応に支障を来さないよう会議室・通信設備・電源設備・空調設備などが備わっています。
 事故当時もこちらに対策本部が設置されました。



⑪廃棄物処理施設 造成地
 廃棄物は種類ごとに分別して1F構内で安全に保管しています。
 この先10年間の廃棄物の発生を予測し、しっかり保管できるように施設の増設を進めています。



■ みんなの疑問

現場や設備に対するご質問にFAQ形式でお答えいたします。



みんなの疑問（一例）：

Q.放射線、放射能、放射性物質はなにが違うの？

放射線は強力な光線のようなものです。懐中電灯に例えるなら、「放射性物質」が懐中電灯で、「放射線」とは放出されるエネルギーそのものであり、「懐中電灯の光」と表せます。また、「放射能」は放射線を出す能力のことで、「懐中電灯が光を出す能力」ということになります。

Q 撤去したガレキはどこへ？

種類ごとに分別し、1F 中にある廃棄物を貯蔵する建物などに保管しています。

■放射線量に関して

画面左下に、空間線量を表示しています。

1F の敷地には空気中の放射線量をリアルタイムに測定する 88 ヶ所の線量計モニターがあり、このサイトで表示している、屋外の放射線量は、このモニターで計測した数値を表示しています。また、屋内の放射線量については、線量計を持ち込み計測した数値を表示しています。



線量計モニター